

---

## 揚子江三角州南部の完新世の環境変遷と新石器時代遺跡

郑祥民\*<sup>1</sup>, 陶静\*<sup>1</sup>, 俞立中\*<sup>1</sup>, 許世远\*<sup>1</sup>, 遠藤邦彦\*<sup>2</sup>, 小森次郎\*<sup>2</sup>

過去数十年間、揚子江三角州南部において第四紀の環境変遷に関する研究が系統的になされてきた。この揚子江三角州について、特に完新世の環境変遷に関わる研究をレビューするため、本論文では、海面変化、気候変化、地質層序との関わりにおける地形発達、そして関連する人類遺跡について主に述べる。

\*<sup>1</sup>華東師範大学資源環境学院地理系  
上海市中山北路200062  
Department of Geography, East China Normal Univ.,  
Shanghai, 200062, China

\*<sup>2</sup>日本大学文理学部地球システム学科  
〒156-8550 東京都世田谷区桜上水3-25-40  
Department of Geosystem Sciences, Nihon Univ.,  
Sakurajosui 3-25-40, Setagaya, Tokyo, 156-8550 Japan